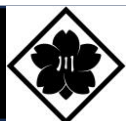




世界を旅する茶室



宮大工モバイル茶室は世界中どこでも
1時間で本格茶室が完成します

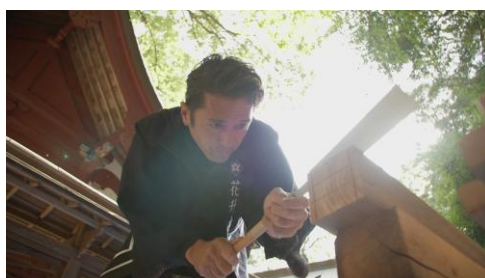


タイプ1 一座建立の茶室「白」



宮大工とは？

日本の神社仏閣を建造する大工です。
1400年継承の歴史を持つ
日本が誇る世界最高峰の木造技術です



タイプ2】本格茶室
「無名庵」



タイプ3】地域間伐材
活用サスティナブル「黒」



タイプ4】椅子とテーブル
で使用する「立礼」



タイプ5】デザイン自由
型破りの「守破離」



宮大工モバイル茶室の6タイプ

タイプ6】躰り口・茶道
口・水屋も付いた「利休」



姉妹品の
「畳椅子」





海外での設営風景

組立茶室の魅力とは？

「技術」と「芸術」のちがいは？

宮大工の日常の「技術」は人に感動を与えた瞬間に「芸術」に進化します。その技をアートとして「茶室」に込めました。

デザイナーは誰？

個々の個性的なデザイナーの斬新なデザインはもうお腹一杯・・・
宮大工の造る茶室のデザイナーは
「日本全国民先祖代々」がデザイナーです。



梱包して国際配送>>海外現地で宮大工が1時間で組立完成>>世界中どこでも本格和室をご提供 (写真はフランス)

どんな時代も乗り越える日本の美

安土桃山戦国の時代も江戸時代も乗り越え500年間どんな時代も乗り越えて生き残ってきたこの茶の湯の美は「不完全の美」でこの先もまだまだ続く美の追求です。このモバイル茶室は1400年続く伝燈の宮大工の技術継承として未来1000年先のために造作しています。

宮大工サステナブルアート

天然の木には1つ1つの顔や個性があります。
宮大工の道具も職人のくせや個性によって木の活かし方が変わってきますのでこの世で1点ものの作品となります。
世界中どこへ出しても恥ずかしくない宮大工の造る本格茶室です。

宮大工SDGs

モバイル茶室の木は水源の森を守る間伐材が主材です。
森の間伐材を一定量、街で利用することにより、森と動物が守られ、街の人々に飲み水が供給され、海と海藻や魚が守られます。
モバイル茶室はイベントが終わったら使い捨てでは無く、何度も組立解体して使用できるので持続可能なサステナブルです。

宮大工木造技術継承のために

このモバイル茶室の部材一つ一つに宮大工の「木組み」の技が凝縮されています。継手仕口を造作することで、次世代の若手宮大工へ技術継承が簡潔に行うことが可能です。
近年は茶室を造作する数寄屋大工が激減し、宮大工が茶室を造作することも日常です。世界最高峰の木造技術を誇る日本の宮大工の木造技術は伝統建築工法匠の技として2020年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

宮大工モバイル茶室

【広さ】 1帖～2.0帖まで自由度高くフレキシブルに対応
【高さ】 2m～3m 重量】 200kg～
【組立時間】 30分～（組立・解体）
【オプション】 にじり口、茶道口、畳床、連子窓、胴庫、水屋、
【消防法等】 世界各国・地域によってそれぞれ対応いたします
【価格】 オーダーメイドにてお問い合わせください
（オーダー平均価格100万円～2,000万円位（税別））
※売上の純利益は水源の森保全と若手宮大工育成と文化建造物保護に活用させていただきます



【国際展示会事例】外国人ビジネスマンは観光地を旅行できずに帰国するので、ほんものの日本が体験でき大変喜ばれます

【購入事例】海外・日本国内では国際会議や美術館・5つ星ラグジュアリーホテルなど様々採用いただいております



世界を旅する茶室「宮大工モバイル茶室」

【お問合せ】 info@hanamasu.co.jp

【担当者】 市川千里 直通090-2323-8698

株式会社 花升木工社寺建築

特定非営利活動法人 宮大工木造技術継承協会

神奈川県横浜市西区西戸部町1-13

TEL: 045-326-6009 FAX: 045-326-6010



@HANAMASU.JAPAN